

誰一人取り残さない社会へ



安全と安心が実感できる宮崎作り

新年度がスタートしました。2022年度は、二期目の最後の年となります。コロナ対策に万全を期して、安全で安心が実感できる社会を作り上げましょう。そのことで、地域経済の復興、地域のコミュニティが復興し、人と人の関わりが豊かになるようにしていきたいものです。本年度も、元気に活動してまいります。

子どもにも優しい社会を

岩切たつや

県議会 便り

2022年4月
発行
県議 岩切たつや
住所 880-0942
宮崎市生目台東
1丁目6-8
電話0985-89-5158
fax 0985-86-8778

**世界に平和を!
戦争反対!**

予算6414億7700万円
今年度の当初予算は、①コロナ禍からの復興と新たな成長活力の創出、②人口減少対策の取り組み強化、③安全・安心で魅力ある地域づくりの三点を重点施策として編成したという知事は、その予算案の提案説明で、「日常」のありがたさ、ありふれたことが、かけがえのないことと気づかされたと思えます。その通りだと思えます。

コロナは命や健康を脅かしただけではなく、地域経済を縮小させ、多くの人の営みを変容させ、さらには人と人とのつながりを弱めさせる被害を社会に与えたと言えます。

検査体制と医療体制の充実、生活や仕事を支える多様な支援、地域経済を早期に回復させる目標で展開する事業



私も福祉や教育の充実にと
だわって議会活動していま
す。福祉と教育の予算は県の
予算のなかで第一位と第二位
を占める高額です。予算書の
福祉保健部、教育委員会、病
院局のページに特に目を通
し、過去の予算書との比較や、
新規事業について議案調査し
て議会に臨みます。

その中の一つひとつ
の事業の中に、県民の思いが
どのように反映されるか見つ
めていきます。

今年、高次脳機能障がい
通所センターの開設や、ヤン
グケアラー支援体制、特別支
援学校の職業教育など充実し
た予算になりました。

成人年齢が18歳に引き下げられました

お酒は二十歳から、たばこも二十歳から、馬券も買えません。でも十八歳からが成人ですよ、自分でスマホの契約や、住むところの判断、結婚の判断もできますよという、十八歳成人が今年度四月一日からスタートし、この日、十八歳、十九歳の方は新成人となりました。

成人となることで得られる権利と、背負う責任があります。私達は二月議会において、この新成人たちが消費者被害を被ることを心配し、政府に対してその対策を強化するよう、意見書を提出することを提案し、賛同を得ることができました。

成年年齢引き下げによる消費者被害の対策を求める意見書(要旨)
民法の成年年齢が二〇歳から十八歳に変更され、法律

上十八歳で親権者の同意なく携帯電話の購入や不動産の賃貸借等の契約を結ぶようになる。

一方、被害の防波堤であった未成年者取消権が十八歳から失われることとなり、若者が悪質事業者のターゲットとなる懸念されている。

現在も、マルチ商法の被害や、クレジットカードを作成して多額の借金をして返済に苦慮する若者がいる。このような問題が、十八歳から発生することが容易に想像され、より深刻な被害が懸念される。

よって、国においては、成年年齢の引き下げを見据えた消費者教育の充実を進め、消費者契約法の取消権を充実することや、インターネット取引など新しい商取引の拡大に対応した、消費者への十分な情報提供や意識啓発、悪質な事業者への迅速な対応を求める。

以上、地方自治法の規定により意見書を提出する。

立憲民主党県議会議員

岩切たつやプロフィール

1979年県庁入庁し、児童相談所、福祉事務所等に勤務。その間、労組委員長、PTA会長など労働運動、地域にに取り組む。

2015年県議選に初挑戦、現在二期目。環境農林水産常任委員会委員長
立憲民主党宮崎幹事長
現在61歳
社会福祉士、宮崎県登録養育里親

働く者の立場を守り、全
ての子どもに、幸福な未
来があるように祈ると同時
に、行動してまいります。そ
のためにも、夏に向けて、
あらためてしっかりと頑張っ
ていきます。

様々な課題を取り上げて、県
民福祉の向上に寄与できるよ
う頑張っていきます。

皆さまの、県政に対する
ご意見、ご要望を
お聞かせください。

一日でも早いコロナ収束で、安心の生活を

ロシアのウクライナ侵略に抗議する決議を採択

提案された事業や同僚議員の質問・答弁をご紹介します。

☆質問☆ (予算編成方針)

知事にとって三期目の仕上げとなる次年度に向け、予算にかける思いを聞かせてほしい。

☆答弁☆ (知事)

第一に県民が誰しも心穏やかな日常を過ごせるように、コロナ対策や県土の強靱化により安心の土台をつくる。第二に社会的に弱い立場の皆さんに寄り添い、県民を支援する取り組みで互いに支え合う温かい社会を築く、第三に将来に向けて持続可能な宮崎県づくりとして、デジタル化・ゼロカーボン化などを進めていく。また、補正予算と合わせ、地域経済の早期回復にしっかりと取り組んでいく。

☆質問☆ (G7サミット誘致)

来年のG7サミット関係閣僚会議誘致に向けた考えは？

☆答弁☆ (知事)

全国の都市が誘致に名乗り出ている。過去の経験を活かし、受け入れ環境などアピールして、国に對する要望活動など、開催誘致に取り組んでいく。

☆質問☆ (バスネットワーク)

新規事業に「バスネットワーク最適化支援基金」創設がある。人口減少など地域環境の変化の中、地域公共交通の維持は重要な課題。基金を創ってどうしているか？

ているのか、目的と事業の概要は？

☆答弁☆ (知事)

路線バスは県民生活に欠かせないものであるが、利用者が減少し続けている。地域間幹線バス路線の維持が難しくなっており、5年をかけ、最適な形態への見直しに取り組み。基金は、その際の転換にかかる費用を支援する。市町村や交通事業者とともに持続可能な地域交通ネットワークを実現したい。

☆質問☆ (商工会の強化)

地域の商工会はコロナ対策の諸事業の窓口となっており、地域の中小商工業者を支えている。以前から地域活性化などに取り組み、地域の維持には欠かせない存在である。一方で三十五ある商工会のうち、事務局長がいるのは十七。商工会の組織の強化が必要で、事務局長をすべての商工会へと思う。知事の考えを伺いたい。

☆答弁☆ (知事)

地域の事業者の支援機関である商工会は、その役割は重要。一定の補助をしているが、要件をつけている。そのため、地域振興の担い手として、その体制が必ずしも十分ではない状況があるので、今年度から、地域振興コーディネーターの設置を支援開始した。

☆私の思い☆

社会的な安全安心を守り、地域のコミュニティが維持されるよう、市町村と一緒に

取り組まなければならない。限られた財源の中、公共交通の課題や、商工会などの地域活性化の担い手作りなど、人口減少社会のなかで、課題に向き合っていくことはたいへんですが、しっかりと取り組むことが重要です。



定数に占める欠員の割合は11.8%である。様々な教育課題に対応するための加配定数の配分が年度末となることや、想定より教室数が増加することなどにより欠員割合が高くなる。

☆私の思い☆

もとより採用数が過剰となることはなく、慢性的な不足のまま、学校が運営されています。

採用が困難な状況下で、より一層の努力を求めたい課題です。

☆質問☆ (生理の貧困)

宮崎大学において女子トイレに生理用品を配備するとの報道があった。「生理の貧困」という言葉が語られる時代となっている。県内公立学校の状況は？

☆答弁☆ (教育長)

ほとんどの県立高校において女子トイレに、生徒が自由に使用できる生理用品を配備している。生徒が安心かつ健康的な生活を送るための環境作りとして取り組むこととした。市町村立学校でも取り組まれるようになったと聞く。情報を収集していく。

☆私の思い☆

あおりを食った事業者では、雇用の喪失や、これまでの投資の回収もできなくなる恐れがあります。支援は欠かせません。

都農町がふるさと納税対象団体から、指定を取り消されたことを受け、県は、都農町内の事業者にどのような支援を行うのか。

☆質問☆ (ふるさと納税)

☆答弁☆ (総務部長)

町内で返礼品を取り扱っていたすべての事業者は大きな影響を受ける。町では支援方針をとりまとめ、事業の再構築などを支援すると聞いている。県では資金繰りや雇用の維持、他の販路開拓などの支援を行いたい。

☆私の思い☆

あおりを食った事業者では、雇用の喪失や、これまでの投資の回収もできなくなる恐れがあります。支援は欠かせません。

世界が新型コロナウイルス感染症への対応に追われている中、ロシア軍は、2月24日、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面的な侵攻を開始した。さらにその後、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けている。これは、明らかに国連憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略であり、断じて容認できない暴挙である。

☆質問☆ (総合運動公園のテニスコート)

☆答弁☆ (知事)

テニス協会がハードコート化の要望を行った。どのように対応するのか。

☆質問☆ (知事)

☆答弁☆ (知事)

要望を受けたのは事実。一方で、現在のコートは、すべての世代で活用が図られることや、雨に強く、国内で最も普及している仕様である。施設利用者のニーズ、県内外の公営コートの状況、整備・維持コストなど検証し、スポーツ振興の立場から、運動公園庭球場の果たすべき役割を考えて、国スポに向けた整備方針を定めていきたい。

◆2月17日～3月16日定例会

令和4年度一般会計予算案や特別会計予算案など20本、令和3年度の補正予算16本、条例等26本などを審議しました。◆4月3日立憲民主党宮崎県総支部連合会定期大会 来る参議院選挙に向け、黒田ななさんを公認候補として夏に向け闘い、勝利を目指すことが決定しました。私は県連幹事長に就任してがんばることとなりました。*定例県議会の内容については、詳しくは県広報や宮崎県庁ホームページをご覧ください。

〈さまざまなスナップ〉



↑頑張っています！



黒田ななさんと一緒に街頭演説！

よって、本県議会は、ロシア軍による攻撃とウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から直ちに全ての軍隊を完全に撤退させること及び誠実に国際法を遵守し、平和的に対応することを強く求めるものである。また、政府においては、邦人の確実な保護や我が国への影響対策について万全を尽くされるよう強く要請する。以上、決議する。

令和4年3月3日 宮崎県議会